

平成30年6月

第2次健康おたる21関連事業
事業経過シート

第2次健康おたる21関連事業

施策No.	領 域	施 策	担 当	頁
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG	3
2	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	地域保健SG	4
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG	5
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG	6
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG	7
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙の支援	担当主幹	8
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG	9
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG	10
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG	11
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG	12
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG	13
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG	14
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹	15
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹	16
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす	歯科・栄養SG	17
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG	18
17	全般	第2次健康おたる21普及・啓発	事務局	19
年度別目標達成状況		前期計画策定シート	事務局	20

施策No.	領域	施策	担当
1	がん、循環器、糖尿病領域	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的: がんの75歳未満の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)

目標: がん検診受診率の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	【がん検診の周知、啓発】 - 関係機関に、チラシを配布 - 国保新規加入者に対してチラシを配布 - 健康教育による啓発 - 医療機関、歯科医院、調剤薬局でのチラシの配布 - 坂の街出版発行のWa-o!!に啓発記事を掲載 - 検診会場におけるポスター周知 - 広報おたるに記事を掲載 - 新規: 胃がん検診開始の医療機関におけるポスター掲示 - 新規: 胃がん検診委託医療機関における、胃がん検診周知チラシの配布 - 新規: 市関係機関(本庁、図書館、サービスセンター他)におけるがん検診チラシの設置を依頼 - 新規: 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 【がん検診実施の工夫】 - スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 - 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 - 新規: 市内4医療機関での胃がん検診を開始	【がん検診の周知、啓発】 - 関係機関に、チラシを配布 - 国保新規加入者に対してチラシを配布 - 健康教育による啓発 - 医療機関、歯科医院、調剤薬局でのチラシの配布 - 坂の街出版発行のWa-o!!に啓発記事を掲載 - 検診会場におけるポスター周知 - 広報おたるに記事を掲載 - 市関係機関(本庁、図書館、サービスセンター他)におけるがん検診チラシの設置依頼 - 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 - がん検診受託医療機関におけるポスター掲示 - 郵送による個別受診勧奨及び再勧奨の実施(対象抽出) - 新規: 子宮頸がんクーポン未利用者への再勧奨の実施 - 新規: 教育関係機関における子宮頸がんポスター掲示 - 新規: おたる健康づくり通信におけるがんの啓発 - 新規: 市内医療機関における健康イベントにおいて、健康教育の実施やチラシの配布(ふれあい健康教室(協会の病院主催)、小樽市立病院まつり) 【がん検診実施の工夫】 - スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 - 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 - 市内医療機関で胃がん検診を実施	【がん検診の周知、啓発】 - 関係機関に、チラシを配布 - 国保新規加入者に対してチラシを配布 - 健康教育による啓発 - 坂の街出版発行のWa-o!!に啓発記事を掲載 - 検診会場、がん検診受託医療機関におけるポスター掲示 - 広報おたるに記事を掲載 - 精神事業周知イベントにて、がん検診チラシの配布 - 郵送による個別受診勧奨及び再勧奨の実施(胃内視鏡検査対象抽出) - おたる健康づくり通信におけるがんの啓発 - 子宮頸がんクーポン未利用者への再勧奨の実施 【がん検診実施の工夫】 - スポーツフェスティバル会場における肺がん検診 - 町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施 - 市内医療機関で、胃がん検診(胃内視鏡検査を実施) - 子宮頸がん自己検診受診事業の実施 - がん検診普及ボランティアについて検討
評価	【受診率】 - 胃がん検診: 6.3%(前年比-0.7%) (平成28年度から、変更された算出方法では9.2%) - 肺がん検診: 8.9%(前年比-0.8%) - 大腸がん検診: 16.0%(前年比-3.4%) - 子宮頸がん検診: 26.3%(前年比-3.8%) - 乳がん検診: 27.0%(前年比-1.6%)	母数検討中により、12月頃に確定予定。	
改善点	啓発については、本年度から開始した市内医療機関での胃がん検診について、受託医療機関と協力し周知を実施した。 受診率の低下は大腸がん検診クーポン事業の終了と子宮・乳がん検診クーポン対象の変更に伴うクーポン配布数の減少による影響が考えられる。がん検診に関する個別勧奨等の検討が必要である。	啓発については、市内医療機関と協力し、周知を実施した。 個別勧奨、再勧奨の取組みにより、新規受診者の掘り起こしにつながった。今後も対象を変えながら継続していく必要がある。	

施策No.	領域	施策	担当
3	がん、循環器、糖尿病領域	血圧自己測定推進	地域保健SG

目的・目標 自宅などで血圧測定をする40歳代の割合の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 ・血圧自己測定に関するリーフレットの配布 ・特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨	・健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 ・血圧自己測定に関するリーフレットの配布 ・特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨	・健康教育、健康相談や各種イベントにおける普及啓発 ・職域の健康教育において、リーフレットを使用して血圧自己測定の必要性について説明する。 ・血圧自己測定に関するリーフレットの配布 ・特定保健指導、特定健康相談での実施勧奨
評価	・健康教育 11回 353名 ・イベント参加 5回 162名 (ピンクリボン(2回)、消防、看護協会、体育協会) ・リーフレット配布 1716枚 ・特定保健指導:52名 特定健康相談155名に勧奨 ・健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 74.3%	・健康教育 9回 237名 ・イベント参加 4回 392名 (ピンクリボン(2回)、食生活展、体育協会) ・リーフレット配布 2457枚 ・特定保健指導:60名 特定健康相談200名に勧奨 ・健康教育にて実施しているアンケートで、血圧自己測定をしている割合 44.9%(回答者の平均年齢が、前年度より若かったため、年齢が低いほど、血圧自己測定をしている者が少ないことが予測される)	
改善点	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	あらゆる機会を活用し、啓発を継続することとする。	

施策No.	領域	施策	担当
4	がん、循環器、糖尿病領域	ウォーキング推進事業	地域保健SG

目的・目標 目的:40～50歳代の運動習慣を有する割合の増加

目標:ウォーキングサポーターを20名養成し、市民への普及を行う

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施	・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施	・ウォーキングサポーターの養成 ・市民への健康教育の実施 ・ウォーキングサポーターと協働して、平成31年度の事業の方向性について協議する
評価	・ウォーキングサポーター養成 8人 ・市民への健康教育 107回 1,483人	・ウォーキングサポーター養成 9人 ・市民への健康教育 77回 1,256人 サポーターの養成は近年10名未満と低迷しており、方向性の検討が必要である。市民への健康教育は、毎年1000名を超える参加があり、安定して実施できていると判断する。	
改善点	ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	養成講座は、今後の方向性について検討する。市民への健康教育については、ウォーキングサポーターと協働し、引き続きウォーキングの普及・啓発を行っていく。	

施策No.	領域	施策	担当
5	がん、循環器、糖尿病領域	おいしい空気の施設推進	地域保健SG

目的・目標

目的:成人の喫煙率の減少

目標:おいしい空気の施設登録件数の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・おいしい空気の施設を周知する。 ・受動喫煙について普及啓発を行う。 ・ポスターの配布 ・FMおたる	・おいしい空気の施設を周知する。 ・受動喫煙について普及啓発を行う。 ・ポスターの配布 ・FMおたる	・おいしい空気の施設を周知する。 ・受動喫煙について普及啓発を行う。 ・ポスターの配布 ・FMおたる
評価	・おいしい空気の施設登録周知 公衆浴場商業協同組合10か所、市内 介護施設56か所、官公庁9か所 市内飲食店264か所 ・おいしい空気の施設:140件 ・普及啓発 関係機関にポスターを送付 160か所 乳幼児健診でチラシを配布 1771枚 母子手帳配布時に同封 555枚 イベントなどで配布 878枚	・おいしい空気の施設周知・登録勧奨 介護施設65か所、調剤薬局60か所、幼稚園15か 所、組合・協会等の団体18団体480か所、司法事務 所等会社関係290か所、大学・専門学校6か所、銀 行6か所、ホテル10か所、スーパー15か所 ・おいしい空気の施設:172件 ・普及啓発 関係機関にポスターを送付 164か所 乳幼児健診でチラシを配布 1620枚 母子手帳配布時に同封 546枚 イベントなどで配布 2133枚	
改善点	取り組みを継続する。	取り組みを継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
6	がん、循環器、糖尿病領域	禁煙の支援	担当主幹

目的・目標 目的:喫煙率の減少

目標:禁煙宣言者の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・医療機関(禁煙外来)と連携し、禁煙を決意した方に禁煙宣言をしてもらいホームページで登録者数を公表する。	・昨年同様 禁煙外来との連携により、禁煙開始した方に禁煙宣言をしてもらい、ホームページで人数を公表する。	・平成30年度からは、支援的なかわりを増加させることを主として行う(具体策は検討中)。 ・小樽市HPや広報紙へ掲載するとともに、ネットワーク会議参加団体の協力を得ながら禁煙情報の周知に努める。
評価	平成28年度登録者は53名であるので、事業開始からの登録者数は、85名に増加した。	・平成28年度より禁煙宣言に個人情報を書けないようにしたため、年間登録者は昨年に近い46人となった。事業開始からの累積登録者は131名。	
改善点	市内の喫煙者の減少を図るためには、様々な場所で喫煙しにくくなることや禁煙外来の情報も重要であることから、市民へ向けての情報発信も行う。	・禁煙達成に向けての支援を中心とするのであれば、よりかわりを深める必要がある。禁煙開始者を増加させるのであれば、より広い対象に禁煙情報を届ける必要がある。以上を踏まえて、どの程度のバランスで事業を行うか検討する。	

施策No.	領域	施策	担当
7	がん、循環器、糖尿病領域	ヘルシーメニュー事業	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方にもおいしく、エネルギー等を心配せず安心して外食を楽しめる環境を整備する。

目標:食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加(「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店数(合計)10件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布	事業周知及び登録店への周知に努める。 ・関係団体等へ事業周知のリーフレットを配布 ・市ホームページへ掲載 ・FMおたるでの周知 ・栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対しリーフレットを配布
評価	登録件数:7件(6店舗) (おたる・スーパーヘルシーメニュー4件・おたる・ヘルシーメニュー1件・おたるヘルシースイーツ2件)	登録件数:7件(6店舗) (おたる・スーパーヘルシーメニュー4件・おたる・ヘルシーメニュー1件・おたるヘルシースイーツ2件)	
改善点	登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知、登録店の周知に努めたが、なかなか登録には結びつかなかった。今後は登録に結びつくような支援の検討が必要である。	登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知、登録店の周知に努めたが、なかなか登録には結びつかなかった。今後は登録に結びつくような支援の検討が必要である。	

施策No.	領域	施策	担当
8	がん、循環器、糖尿病領域	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:市民に朝食の重要性と家族で規則正しい食習慣を実践できるように正しい知識を普及・啓発する。

目標:毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載	・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載	・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数:7,438枚	周知リーフレット配布数:7,200枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
9	がん、循環器、糖尿病領域	食事バランスガイド活用の推進	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:市民が自らの食生活を見直すことにつながる正しい知識の普及・啓発

目標:食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加

生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人の割合の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載	・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載	・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。 ・市ホームページに掲載
評価	周知リーフレット配布数:5,473枚	周知リーフレット配布数:5,329枚	
改善点	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。	

施策No.	領域	施策	担当
10	がん、循環器、糖尿病領域	栄養成分表示の店推進	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食などを利用して食生活全体を管理することが大切になっている。よりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境を整備する。

目標:「栄養成分表示の店」の登録店の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 ・市ホームページへ掲載	・北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 ・市ホームページへ掲載	・北海道などの関係機関と連携し、登録店への周知に努める。 ・市ホームページへ掲載
評価	登録件数:57件	登録件数:56件	
改善点	今後も、北海道などの各関係機関等と連携し事業を推進する。	登録件数が伸び悩んでいるので、今後も北海道などの各関係機関等と連携し事業を推進する。	

施策No.	領域	施策	担当
11	精神保健領域	悩みの相談窓口の周知啓発推進	地域保健SG

目的・目標 目的:相談窓口の周知、相談実務者を対象にした研修会を通して相談機関の連携体制強化の拡充などにより、自殺対策を推進する。

目標:年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用ちらしを2,500枚以上配布し、周知を図る。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 3 相談援助技術専門研修事業における啓発 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付 5 通常業務における普及啓発活動 (健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる)	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 3 相談援助技術専門研修事業における啓発 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付 5 通常業務における普及啓発活動 (健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる)	1 街頭啓発キャンペーンの実施 2 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付 3 相談援助技術専門研修事業における啓発 (参加者の増加を目指し、講義の内容に反映できるように、研修参加者から事前に要望や日常業務での問題点や要望などを把握する) 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付 5 通常業務における普及啓発活動 (健康教育、保健所玄関にちらし設置、FMおたる、広報おたる) 6 自殺対策を総合的にかつ効果的に推進していくため、自殺対策計画(計画期間:平成31～34年)を関係機関と協議して策定する。
評価	(番号は実施内容に対応) 1 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 2 86か所にちらしを配布 3 参加した54団体へ普及啓発(2枚ずつ配布) 4 354か所へちらしを配布 5 健康教育は49人、保健所玄関のちらしは市民1,000人に配布 精神保健北海道大会250人に配布 ちらし配布数 計3,847枚	(番号は実施内容に対応) 1 年2回実施、市民2,000人にちらしを配布 2 79か所にちらしを配布 3 参加した44団体へ普及啓発(2枚ずつ配布) 4 385か所へちらしを配布 5 健康教育は162人、保健所玄関のちらしは市民1,000人に配布 小樽市民生児童委員協議会で682枚配布 小樽市食生活展で150枚配布 ちらし配布数 計4,546枚	
改善点	相談援助技術専門研修事業は参加施設数の目標を達成できるよう、研修会の目的、内容、参加対象施設などを検討していく。周知先を増やす、電話勧奨を行うなど周知啓発方法をについて検討してい	相談援助技術専門研修事業は、参加施設数の増加を目指し、研修会の目的、内容、参加対象施設などを検討していく。	

施策No.	領域	施策	担当
12	感染症領域	麻疹ワクチン接種の推進	結核・感染症SG

目的・目標 目的: 麻しん排除に向け、麻しんワクチン(1期及び2期)の接種率の向上を図る。

目標: 麻しんワクチン接種率95%以上

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成29年2月) 3 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関	1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成30年2月) 3 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園、教育委員会、子育て支援課、医療機関	1 対象児への勧奨 第1期対象者 ①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)②乳児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(1歳10か月時) 第2期対象者 ①個別通知②幼児健診・相談時勧奨③未接種児へ電話勧奨(平成30年2月) 3 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布) 保育園、幼稚園(7月、12月の年2回)、教育委員会、子育て支援課、医療機関
評価	MRワクチン接種率 MRワクチン第1期 96.5% MRワクチン第2期 95.6%	MRワクチン接種率 MRワクチン第1期 91.3% MRワクチン第2期 93.3%	
改善点	第2期対象者の他市での接種状況把握のため、返信用封筒を送付し、接種状況の返信を依頼し把握に努めた。	関係機関(保育園・幼稚園)との連携回数を増加する。	

施策No.	領域	施策	担当
13	口腔保健領域	効果的な歯みがきの普及	担当主幹

目的・目標 目的:歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる

目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	1. 効果的な歯磨きについてのリーフレット配布 2. 健康教育の際には実践的内容を取り入れる 3. 歯科医師会のイベントで歯磨きのDVD上映 4. プロフェッショナルケアの必要性を周知する	1. リーフレット配布 (歯間ブラシなどの情報) 2. プロフェッショナルケア周知(歯科医師会等との協働による)	1. セルフケア充実のための周知として、3歳児健診で歯間部清掃用具のリーフレット配布。歯科医師会とのイベントなどで周知 2. プロフェッショナルケアを受ける人を増加させるため、歯科医師会等と協働する「あなたの歯は何本？」事業のリーフレットを歯科医院で配布するとともに市民対象の小樽健口講座を開催する。
評価	リーフレット配布枚数 2,178枚 1歳半健診での保護者の歯間部清掃用具使用者はH28年度50.5%で、目標値50.0%を超えた。	1. リーフレット配布枚数は493枚。今年度から「いきいき健康まつり」に参加しリーフレットを説明しながら配布することができた。歯間部清掃用具使用者は1歳半の保護者で51.0%、3歳児の保護者で54.9%、中間評価アンケートで55.8%。 2. プロフェッショナルケア周知に関しては、リーフレットを説明し配布した数は、1005枚。	
改善点	実践的内容を増やしたいが、実際は健康教育の機会は限られているため、インターネットで見ることができる動画の情報も入れるとよい。また、プロフェッショナルケアを受ける人が増加することで、口腔環境が整うことが予想されることから、プロフェッショナルケアの推進も重要である。	・歯間部清掃用具使用者では、使用頻度を上昇させるため、さらに周知を行う。	

施策No.	領域	施策	担当
14	口腔保健領域	歯周病セルフチェックの普及	担当主幹

目的・目標 目的:歯周病予防により自分の歯を維持し、いつまでも自分の歯で食べることができるようになる

目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	歯周病セルフチェックリストを配布する。 平成28年度末で2,178枚 保育施設 (1,247枚) 3歳児健診(627枚) 健康教育など(191枚) イベント (113枚)	・歯周病セルフチェックリストについては、積極的な配布は休止する。 ・現行のチェックリストについては、保健所ホームページに掲載する。 ・日本歯科医師会が行っている、インターネット上の「生活支援プログラムの歯周病チェック」を周知する。	
評価	リーフレット配布枚数 2,178枚 ①40歳代で進行した歯周病をもつものは25.9%に減少し目標値(25.0%)に近づく。 ②60歳代で24歯以上持つものは、47.7%に増加し、目標値(50.0%)に近づく。	・歯周病セルフチェックの積極的な配布は行わないことから、後期計画では施策13と統合することとし、評価も施策13で行う。	
改善点	セルフチェックリストの積極的配布は休止し、適宜配布するとともにホームページに掲載することとする。		

施策No.	領域	施策	担当
15	口腔保健領域	むし歯のない3歳児を増やす(80%以上)	歯科・栄養SG

目的・目標 目的:乳歯列完成期(3～4歳)のむし歯の無い子供を増やす

目標:むし歯の無い3歳児を80%以上にする(策定時69.8%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の27.4%から40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。 ② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。	① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を現状の27.4%から40%以上に増加させるため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。 ② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)のうち、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。	① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児40%以上を維持するため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性和効果についての情報提供を行う。 [方法] ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月のお知らせを工夫 イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。 ② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、比較的軽度で予後が良好な上の前歯のみ又は上下の奥歯のみに限局したむし歯(A型)のうち、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。 [方法] ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施 イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。
評価	(今年度より実績値を過去2年分を含めた3年間平均で表記) 目標:むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値81.0%(H26-28平均値 策定時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値40.8%(H26-28平均値 策定時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値9.0%(H26-28平均値 策定時13.5%)	(実績値は、過去2年間を含めた3年間平均で表記) 目標:むし歯のない3歳児を80%以上にする⇒実績値82.3%(H27-29平均値 策定時69.8%) ①3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値41.1%(H27-29平均値 策定時27.4%) ②上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値8.4%(H27-29平均値 策定時13.6%)	
改善点	今年度より、実績値を過去2年間分を含めた3年間平均で表記することにしたので、単年度数値に比べて変動値が安定する予定	中間評価で目標値を達成したので、新たな目標値を設定する。 目標:むし歯のない3歳児を85%以上にする	

施策No.	領域	施策	担当
16	次世代の健康づくり	思春期の健康教育推進	子育て支援SG

目的・目標 ・思春期における児童、生徒がエイズ、妊娠、避妊について正しい知識を身につけることができる。

・未成年の喫煙をなくす

・未成年の飲酒をなくす

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会にて周知。	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。	1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。 2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。 3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。
評価	1 実施回数:26回 (小学校14回、中学校8回、高校4回) 2 小中学校に対して性教育等の健康教育の目的及び申込方法についての文書を配布(1回)	1 実施回数:24回 (小学校17回、中学校3回、高校4回) 2 小中学校及び高校に対して性教育等の健康教育の目的及び申込方法についての文書を配布(1回)	
改善点	健康教育の実施回数は昨年に比べて減少している。今後とも事業の周知を継続していく。	事業の周知を継続するとともに、講話内容の質の向上を目的に、実施後のアンケート調査を行う。	

施策No.	領域	施策	担当
17	全般	第2次健康おたる21普及啓発活動	事務局

目的・目標 目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。□

目標:計画の概要説明(目標3,000人)、計画概要版の増刷(目標2,000枚)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予定)
実施内容	・各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 ・「ネットワーク会議」委員からなる「おたる健康ナビゲーター」と一緒に本計画について周知・普及を行う。	・各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 ・「ネットワーク会議」委員と一緒に本計画について周知・普及を行う。	・各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。 ・「ネットワーク会議」委員より、健康情報の発信・普及として、「おたる健康づくり通信」を偶数月に発行する。
評価	計画1:平成28年度 実績 61団体1,117人 うち新規団体・新規対象 42団体681人 (61.0%) 計画2:計画概要版の増刷 2,000枚	計画1:平成29年度 実績 62団体1,229人 うち新規団体・新規対象 45団体772人 (62.8%) 計画2:計画概要版の増刷 2,000枚	
改善点	・前年度に比べると、健康教育等の実施回数が減少したため、周知実績も低下している。今後も健康教育等の機会を積極的に活用するとともに、ネットワーク会議委員と普及啓発に向けた活動を継続していく。	今後も健康教育等の機会を積極的に活用するとともに、ネットワーク会議委員と普及啓発に向けた活動を継続していく。	

施策No.	領域	施策	担当
18	全般	チャレンジ健康クイズ	地域保健SG

目的・目標 健康づくりについて、より多くの市民に情報を提供するため「チャレンジ！健康クイズ」を郵送し、クイズに回答しながら楽しく健康づくりについての知識を身につけていただく

	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予定)
実施内容	「チャレンジ！健康クイズ事業」の推進 1 対象は、市内在住の満20歳～79歳の市民、男女500人 実施方法は、対象者に「チャレンジ！健康クイズ」を送付、対象者は返信用封筒により返送期間内に回答用紙を返送。後日回答用紙のコピー、クイズの正解(解説付)、健康情報を郵送した。回答未返送者には、正解(解説付)、健康情報を郵送した。 2 健康教育で「チャレンジ！健康クイズ」の回答用紙、正解(解説付)を配布した。	平成25年度から市民に直接健康づくりの情報を提供することを目的として実施してきた「チャレンジ！健康クイズ事業」は、3年間の集計結果から健康情報の認知度の高い事項と低い事項が見えてきた。従って、平成27年度をもって郵送による事業は終了とし、今後は平成27年度から設置した小樽市健康づくり推進ネットワーク会議を活用した健康情報提供の推進を図っていききたい。	
評価	1 対象者500人に対し、489人に健康情報を提供した。 2 健康教育で1,027人に健康クイズを配布し、健康づくりの情報を提供した。	1 小樽市健康づくり推進ネットワーク会議において、健康情報を掲載した「おたる健康ナビゲーター」名刺を作成し、健康増進計画の周知啓発とともに、健康情報の提供も実施した。	
改善点	現行どおり	小樽市健康づくり推進ネットワーク会議委員による名刺の配布は継続するが、実績の拡大を目指し、ネットワーク会議の活動内容について、委員とともに検討する必要がある。	

前期計画策定シート(平成25年～29年度)

領域	番号	事業名・取組内容	評価指標 ※複数の場合は行の挿入をお願いします。	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
				目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等
(1)がん・循環器疾患・糖尿病領域	1	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業	がん検診受診率の向上	胃がん10%	7.3%	未達成	胃がん20%	7.0%	未達成	胃がん30%	7.0%	未達成	胃がん40%	6.3%	未達成	胃がん40%		未確定
				肺がん10%	10.1%	達成	肺がん20%	9.6%	未達成	肺がん30%	9.7%	未達成	肺がん40%	8.9%	未達成	肺がん40%		未確定
				大腸がん10%	18.2%	達成	大腸がん20%	17.9%	未達成	大腸がん30%	19.4%	未達成	大腸がん40%	16.0%	未達成	大腸がん40%		未確定
				乳がん20%	28.5%	達成	乳がん30%	27.5%	未達成	乳がん40%	28.6%	未達成	乳がん50%	27.0%	未達成	乳がん50%		未確定
				子宮頸がん20%	34.7%	達成	子宮頸がん30%	32.2%	達成	子宮頸がん40%	30.1%	未達成	子宮頸がん50%	26.3%	未達成	子宮頸がん50%		未確定
	2	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発事業	特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上	特定健診20%	13.5%	未達成	特定健診30%	14.7%	未達成	特定健診40%	15.1%	未達成	特定健診50%	15.3%	未達成	特定健診60%		未確定
				特定保健指導20%	12.6%	未達成	特定保健指導30%	16.5%	未達成	特定保健指導40%	14.8%	未達成	特定保健指導50%	11.80%	未達成	特定保健指導60%		未確定
	3	血圧自己測定推進事業	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	1,000人	1,545人	達成	1,000人	953人	未達成	1,000人	1489人	達成	1,000人	1,716人	達成	1,000人	1,765人	達成
	4	ウォーキング推進事業 ※事業終期は、サポーター養成100人を達成する平成28年度とする	ウォーキングサポーター養成数(累計)	40人	45人	達成	63人	52人	未達成	81人	54人	未達成	100人	58人	未達成	100人	67人	未達成
			市民への健康教育事業等での普及啓発数(自主活動支援)													3,000人	1,163人	未達成
	5	おいしい空気の施設推進	登録施設数	100件	78件	未達成	150件	105件	未達成	200件	128件	未達成	250件	140件	未達成	300件	172件	未達成
	6	禁煙宣言プロジェクト	禁煙宣言者数	50人	13人	未達成	50人	7人	未達成	50人	12人	未達成	50人	53人	達成	50人	46人	未達成
	7	「おたる・ヘルシーメニュー」事業	登録件数	5件	5件	達成	10件	4件	未達成	15件	5件	未達成	20件	7件	未達成	25件	7件	未達成
	8	「毎日朝食をとる」、「家族の誰かと朝食をとる」	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,862枚	達成	6,000枚	7,438枚	達成	6,000枚	7,200枚	達成
	9	食事バランスガイドの活用推進	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,048枚	達成	3,000枚	5,473枚	達成	3,000枚	5,329枚	達成
	10	栄養成分表示の店推進	登録件数	56件	56件	達成	56件	57件	達成	56件	57件	達成	56件	57件	達成	56件	56件	達成
(2)精神保健領域	11	悩みの相談窓口の周知啓発の推進	(主指標)相談機関地域連携体制への参加施設数	40施設	46施設	達成	50施設	46施設	未達成	55施設	49施設	未達成	60施設	54施設	未達成	65施設	44施設	未達成
			(副指標)「こころの健康相談」啓発用チラシ配付数	2,500枚	2500枚	達成	2,500枚	3,686枚	達成	2,500枚	4,070枚	達成	2,500枚	3,847枚	達成	2,500枚	4,546枚	達成
(3)感染症領域	12	麻しんワクチンの接種率向上に係る取組について	MRワクチン接種率(95%以上)	MR第1期95%以上	87.9%	未達成	MR第1期95%以上	95.6%	達成	MR第1期95%以上	91.0%	未達成	MR第1期95%以上	96.5%	達成	MR第1期95%以上	91.3%	未達成
				MR第2期95%以上	94.4%	未達成	MR第2期95%以上	94.4%	未達成	MR第2期95%以上	94.70%	未達成	MR第2期95%以上	95.6%	達成	MR第2期95%以上	93.3%	未達成
(4)口腔保健領域	13	効果的な歯磨きの指導	リーフレット配布枚数	1,000枚	2,000枚	達成	2,000枚	2644枚	達成	3,000枚	4,182枚	達成	2,000枚	2,178枚	達成	2,000枚	493枚	未達成
	14	歯周病セルフチェック事業	セルフチェック配布枚数	4,000枚	4,500枚	達成	2,000枚	2644枚	達成	3,000枚	4,182枚	達成	2,000枚	2,178枚	達成	2,000枚	150枚	未達成
	15	子供のむし歯予防対策事業	むし歯の無い3歳児を増やす(80%以上)	80%	79.3%	未達成	80%	79.0%	未達成	80%	80.6%	達成	80%	81.0%	達成	80%	82.3%	達成
(5)次世代の健康づくり	16	思春期の健康教育推進	思春期健康教育実施学校数	32校	32校	達成	増加	42校	達成	増加	39校	未達成	増加	26校	未達成	増加	24校	未達成
(6)第2次健康おたる21普及啓発活動	17	第2次健康おたる21普及啓発活動	市民や関係者への健康教育等での普及啓発数	3,000人	3,034人	達成	3,000人	2,144人	未達成	3,000人	2,162人	未達成	3,000人	1,117人	未達成	3,000人	1,229人	未達成
	18	チャレンジ健康クイズ事業	市民への健康情報提供数	500人	487人	未達成	500人	1,254人	達成	1,000人	1,516人	達成	500人			500人		
年度別目標達成状況				達成率 88.9%(16施策/18施策)			達成率 55.6%(10施策/18施策)			達成率 50.0%(9施策/18施策)			達成率 64.7%(11施策/17施策)			達成率 37.5%(6施策/16施策)未確定を除く		